

## 株主メモ

上場証券取引所	東京(証券コード:6762)
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
配当基準日	期末:毎年3月31日、中間:毎年9月30日
株主総会基準日	毎年3月31日(そのほか臨時に必要があるときはあらかじめ公告いたします)

定時株主総会	毎年6月開催
公告方法	電子公告(当社のホームページ http://www.tdk.co.jp/に掲載いたします)
単元株式数	100株
株主名簿管理人及び特別口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社

### 株式に関するお手続きについて

お手続きの内容	お問い合わせ窓口
配当金の受取方法の指定、変更 単元未満株式の買取・買増請求 住所変更、名義変更等	証券会社等にて当社株式をお持ちの株主様 ▶お取引のある証券会社等へお問い合わせください。
	特別口座にて当社株式をお持ちの株主様 ▶三井住友信託銀行株式会社 証券代行部へお問い合わせください。
未払配当金の照会、支払い	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部へお問い合わせください。

### お知らせコーナー

<p>● 配当金の受取方法について:</p> <p>配当金はお受取り忘れのない、安心、確実、スピーディーな、口座振込でのお受取りをお勧めします!</p>
<p>● 単元未満株式の買取・買増請求について:</p> <p>単元未満株式の買取・買増請求に係る当社に対する手数料は無料となっておりますので、是非ご利用ください! (但し、特別口座の株主様を除き、証券会社等に対する手数料が別途必要となる場合がありますので、ご注意ください)</p>
<p>● 今回お送りした「配当金計算書」について:</p> <p>確定申告を行う際、添付書類としてご使用いただくことができますので、大切に保管ください!</p>

### 株主名簿管理人・特別口座管理機関へのお問い合わせ

〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 <b>0120-782-031</b> (フリーダイヤル) (受付時間:9:00 ~ 17:00 ※土日休日を除く)
---



この冊子は植物油インクを使用しています。



見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

TDK株式会社

〒108-0023 東京都港区芝浦三丁目9番1号  
http://www.tdk.co.jp/

121期 株主通信 証券コード:6762

# TDK Today

## Vol.59

2016年4月1日 ▶  
2017年3月31日

特集 未来を見据えた  
TDKのセンサソリューション



株主の皆様へ

既存事業とM&Aによって獲得した  
事業基盤とを融合させ、さらなる  
成長を目指してまいります。



代表取締役社長 石黒 成直

## 2017年3月期の業績について

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2017年3月期(2016年4月1日から2017年3月31日まで)の業績についてご報告申し上げます。

当期におけるエレクトロニクス市場を概観しますと、スマートフォンの生産は、中国市場において引き続き需要が拡大したことにより前期の水準を上回りました。また、自動車の生産は、米国や欧州での堅調な販売に支えられ、前期に比べ若干増加しました。一方、パソコンの生産は前期の水準を下回りました。ハードディスクドライブ(HDD)の生産も、パソコンの需要減やパソコン内部のHDDからソリッドステートドライブ(SSD)への置換えが進んだ影響を受け、前期の水準を下回りました。

このような事業環境の下、2017年3月期の連結業績は、売上高が前期比2.3%増の1兆1,783億円、営業利益が前期比123.4%増の2,087億円、当期純利益が前期比123.8%増の1,451億円となり、5期連続の増収増益となりました。

### 2017年3月期 連結業績概要

売上高	1兆1,783億円 (前期比 2.3%増)
営業利益	2,087億円 (同 123.4%増)
当期純利益	1,451億円 (同 123.8%増)

当期は、高周波部品のスマートフォン向け販売が好調に推移するとともに、二次電池の売上高、営業利益が過去最高を記録し、これらの事業が全社収益を牽引しました。

なお、当期の営業利益には、高周波部品事業における合併会社設立に伴う事業譲渡益1,444億円が含まれております。

## 2018年3月期の取り組みについて

中期経営計画最終年度となる2018年3月期は、以下の取り組みを推進してまいります。

■電子部品のモジュール化の高まるニーズに的確に対応していくとともに、広範囲な最先端技術に関する米国のクアルコム社との技術協力を活用し、IoT(モノのインターネット)等の成長市場において、新製品開発を加速させてまいります。

■今後の市場拡大が期待されるセンサ事業については、買収したセンサ関連会社を組織上でも統合し、横断的なマーケティング体制や研究開発体制を確立することで、高機能・高付加価値のセンシングソリューションを提案してまいります。

■二次電池事業がスマートフォン市場で確立した事業ノウハウを新たな用途開発に活かすとともに、素材技術やDC-DCコンバータ、非接触給電等の部品技術を融合させ、システムとしてソリューションを提供してまいります。

## 業績と配当の見通しについて

2018年3月期の連結業績予想と配当の見通しは以下の通りです。

売上高	1兆1,100億円 (当期比 5.8%減)
営業利益	800億円 (同 61.7%減)
当期純利益	550億円 (同 62.1%減)

※通期の平均為替レートは対米ドル108円、対ユーロ118円を想定  
(2017年5月10日時点)

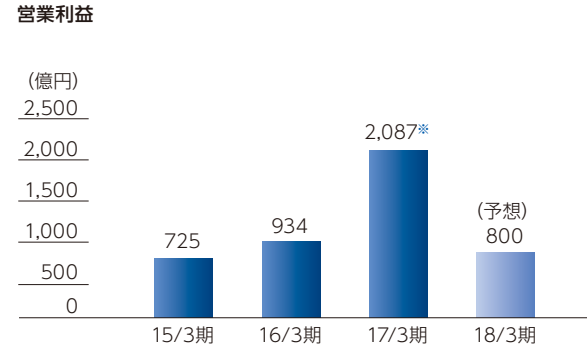
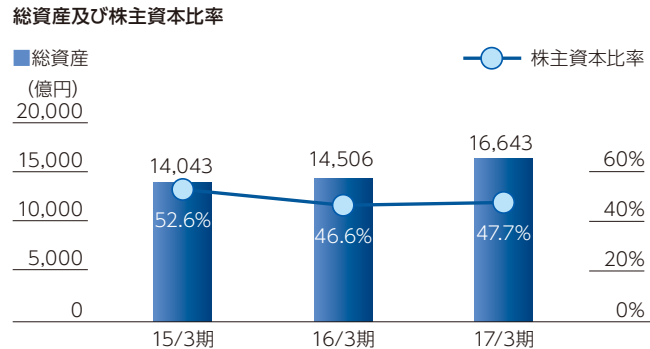
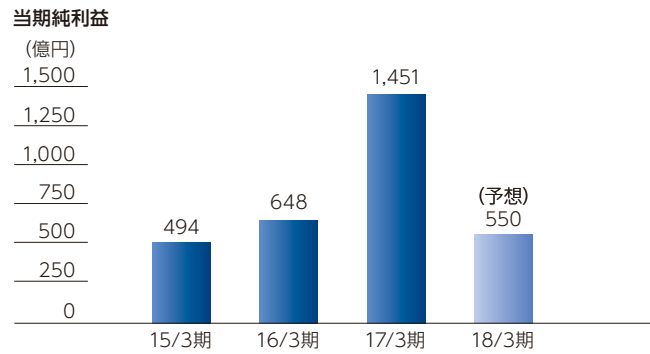
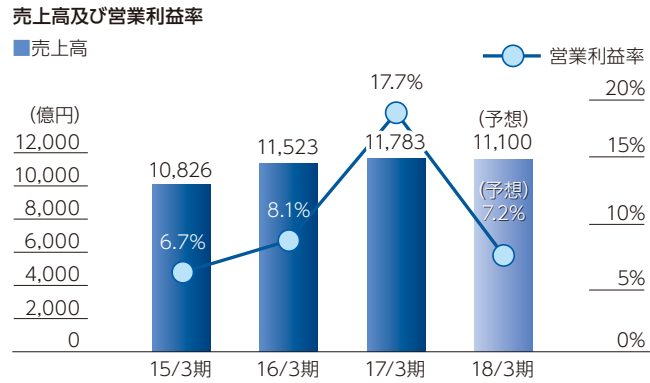
中間配当	60円 (当期 60円)
期末配当	70円 (同 60円)
年間配当	130円 (同 120円)

今後も、既存事業の収益構造転換による収益体質の強化を図るとともに、M&Aによって獲得した事業基盤と、既存事業との有機的融合による成果を早期に実現することで、さらなる成長を目指してまいります。

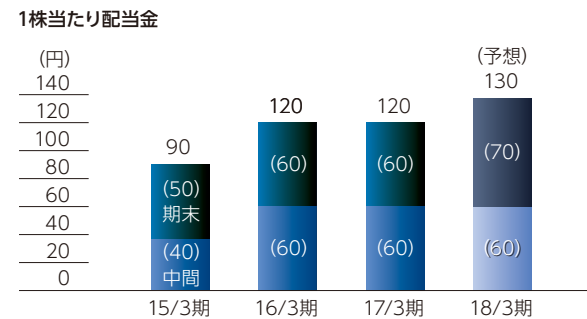
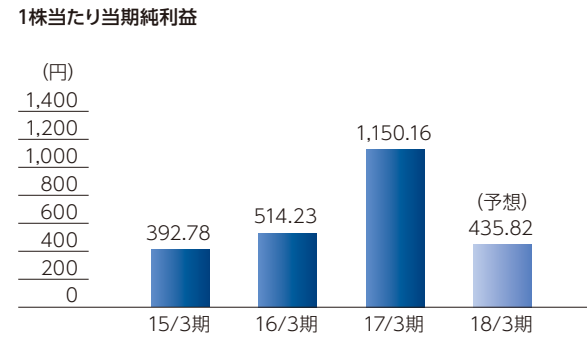
株主の皆様におかれましては、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 石黒成直

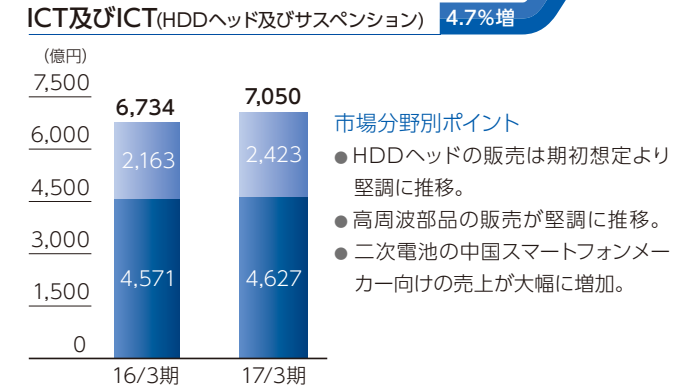
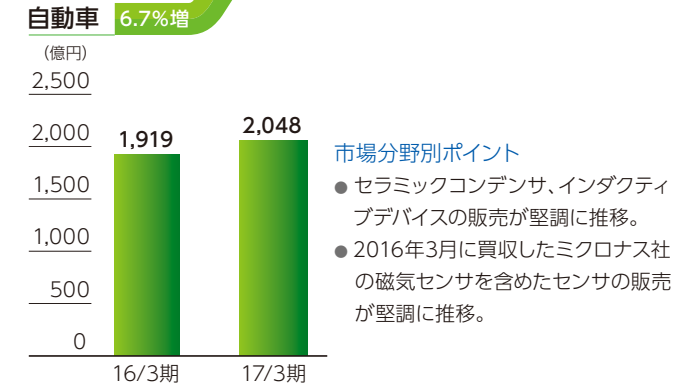
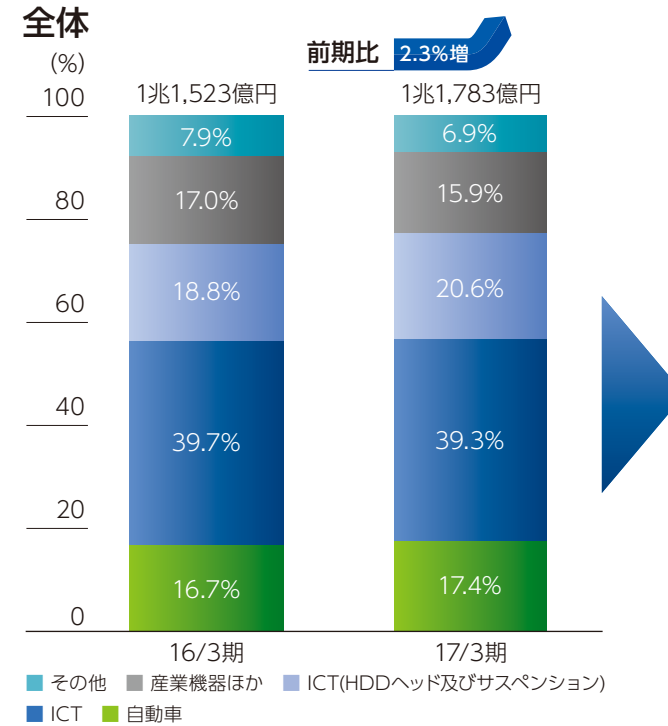
## ■主要財務指標等の推移 (予想: 2017年5月10日発表)



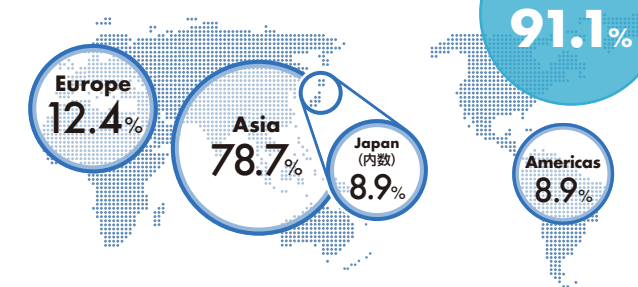
\*高周波部品事業における合併会社設立に伴う事業譲渡益1,444億円が含まれております。



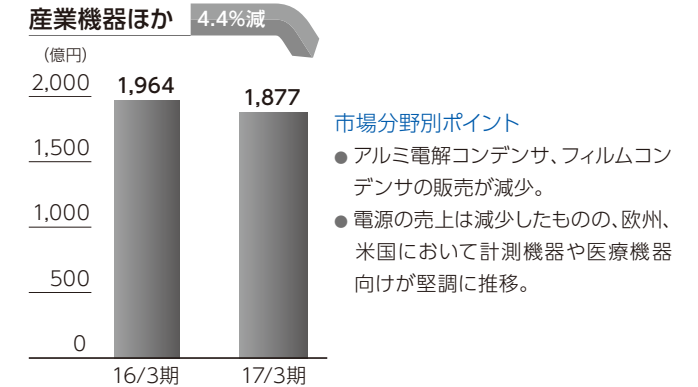
## ■重点分野別売上の状況 (2017年3月期)



## ■地域別売上構成 (2017年3月期)



TDKグループはグローバルに事業を展開しており、海外売上比率は90%を超えています。また、地域別では、日本を含めたアジア地域が78.7%と、最も大きな割合を占めています。





# ハプティクス技術向け 「PiezoHapt™ アクチュエータ」を開発



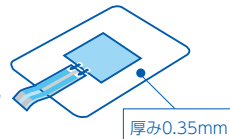
自動車市場 ICT市場 産業機器・エネルギー市場

主なアプリケーション(タッチパネルやカーナビなど)

## ハプティクス技術とは?

ハプティクス技術とは、振動を利用して電子機器を利用する人の触覚に訴えかける技術のことです。この技術は、スマートフォン、タブレット端末、ゲーム機など多くの電子機器に採用されています。振動を皮膚に伝えることで、擬似的な感触をリアルタイムで再現することができます。今後は、家電製品や電子機器のタッチパネル化が進み、VR(バーチャルリアリティ:仮想現実)ゲーム機、ロボットや産業機器、医療機器など用途の拡大が見込まれています。

## 世界最薄クラスを実現したTDKのピエゾアクチュエータ



厚み0.35mm

タッチパネルに触れたときに物理的な振動を発生させる部品がアクチュエータです。当社が新たに開発した「PiezoHapt™ アクチュエータ」は、**世界最薄クラスの厚み(約0.35mm)を実現**し、従来の偏心モータやリニアアクチュエータと比べ、**反応速度が極めて速く、薄い板状のため電子機器内部のどこにでも配置できる**ことが特長です。指がタッチパネルに触れた直後に振動を与えることが可能で、**あたかもボタンを押したかのような反応を実現**することができます。また、本製品は信号制御により振動の大きさや間隔を自由に变化させ、**多彩な振動パターンをきめ細やかに表現**することで、リアリティのある振動を利用者に伝えることが可能となります。

当社は、「センサ・アクチュエータ」を戦略成長製品として掲げており、ピエゾアクチュエータはそのラインナップの一つです。今後も、IoT(モノのインターネット)などの成長が見込まれる市場に対して、戦略成長製品のラインナップの拡充を図っていきます。

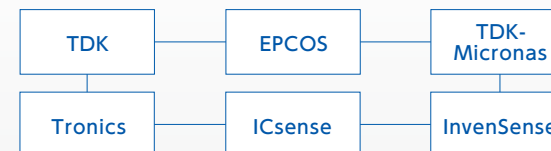
# センサ事業の強化を目指して センサシステムズビジネスカンパニーを新設

TDKが従前から保有しているセンサ事業に加え、買収したセンサ関連会社を組織上でも統合し、横断的なマーケティング体制や研究開発体制を確立することで、高機能・高付加価値のセンサソリューションを提案していきます。

## センサシステムズビジネスカンパニーの組織体制

### センサシステムズビジネスカンパニー

世界13カ国に拠点を持つグループ企業6社でグローバルセンサカンパニーを目指す。



### マネージメント コミット

- 研究・開発
- マーケティング
- プロセス・エンジニアリング
- システム・エンジニアリング

温度・圧力センサ  
ビジネスグループ

磁気センサ  
ビジネスグループ

MEMSセンサ  
ビジネスグループ

## TDKグループが展開する主な製品や技術

TDKグループが事業展開している非光学式センサ製品の世界市場では、2018年3月期で1兆円を超える規模の需要が見込まれており、今後も着実な成長が期待されます。各社の技術と生産、販売の強みを効果的、効率的に組み合わせた複合センサなど、先進的なソリューションをお客様に提供していきます。

**TDK**

- TMR\*素子技術
- セラミック材料技術
- マイクロフォン
- 角度センサ/リニアセンサ
- 地磁気センサ
- 温度センサ

\*TMR: Tunneling Magneto-Resistive, トンネル磁気抵抗。

**EPCOS**

- MEMS\*技術
- セラミック材料技術
- 圧力センサ
- マイクロフォン
- 温度センサ

\*MEMS: Micro Electro Mechanical Systems, 微小電気機械システム。

**MICRONAS**

- ホール素子技術
- 角度センサ/電流センサ
- 位置センサ
- ガスセンサ

**tronics**

- MEMS技術
- 慣性センサ

**ICsense**

- ASIC\*等の開発技術

\*ASIC: Application Specific Integrated Circuit, 特定用途向け集積回路。

**InvenSense**

- MEMS技術
- 慣性センサ
- マイクロフォン
- 大気圧センサ
- 超音波センサ

# 特集 未来を見据えたTDKのセンサソリューション

## いま、センサ技術が注目される理由

センサとは、光、音、熱、圧力などを検出し、その情報を電気信号に変換して出力する電子部品の一つです。人間の五感にたとえられたりしますが、磁気センサ、超音波センサなど、人間の感覚ではとらえられない物理量を検出するセンサや、五感以外の体感に関わる加速度センサやジャイロセンサなど様々な種類のセンサが、自動車、家電製品、産業機器など至るところで役立っています。人とモノ、モノとモノがネットワークでつながるIoT(モノのインターネット)時代に向けて、モノのあらゆる情報を検知・収集するセンサ技術に大きな関心が寄せられています。

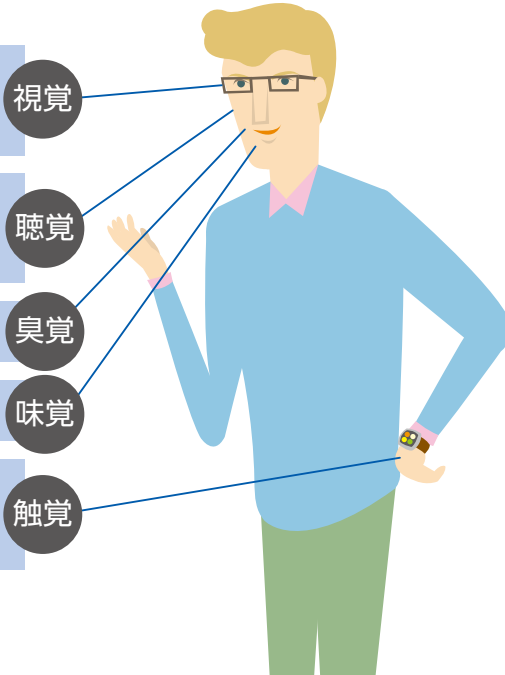
## 複合化、スマート化、ネットワーク化へとセンサが大きく進化

IoTや自動運転の実現に向けて、現在、センサは新たな進化のステージを迎えています。センサ素子の高感度化・高精度化や低消費電力化とともに、これからは複数のセンサをまとめた**複合化**、演算素子やメモリと一体化させて高度な情報処理機能をもたせた**スマート化**、そして通信機能をもたせることによる多数のセンサの**ネットワーク化**が加速すると見込まれています。2020年代に、世界のセンサ生産量は1兆個を超えると予測されていて、近未来の社会では、膨大な数のセンサネットワークが、新たなインフラとして発展すると見込まれています。

## 主なセンサの種類

### 五感と関係したセンサ

- 視覚
  - フォトトランジスタ
  - イメージセンサ
- 聴覚
  - マイクロフォンなどの音センサ
- 臭覚
  - 臭いセンサ
- 味覚
  - 味覚センサ
- 触覚
  - 圧力や振動などの触覚センサ



### 五感以外のセンサ

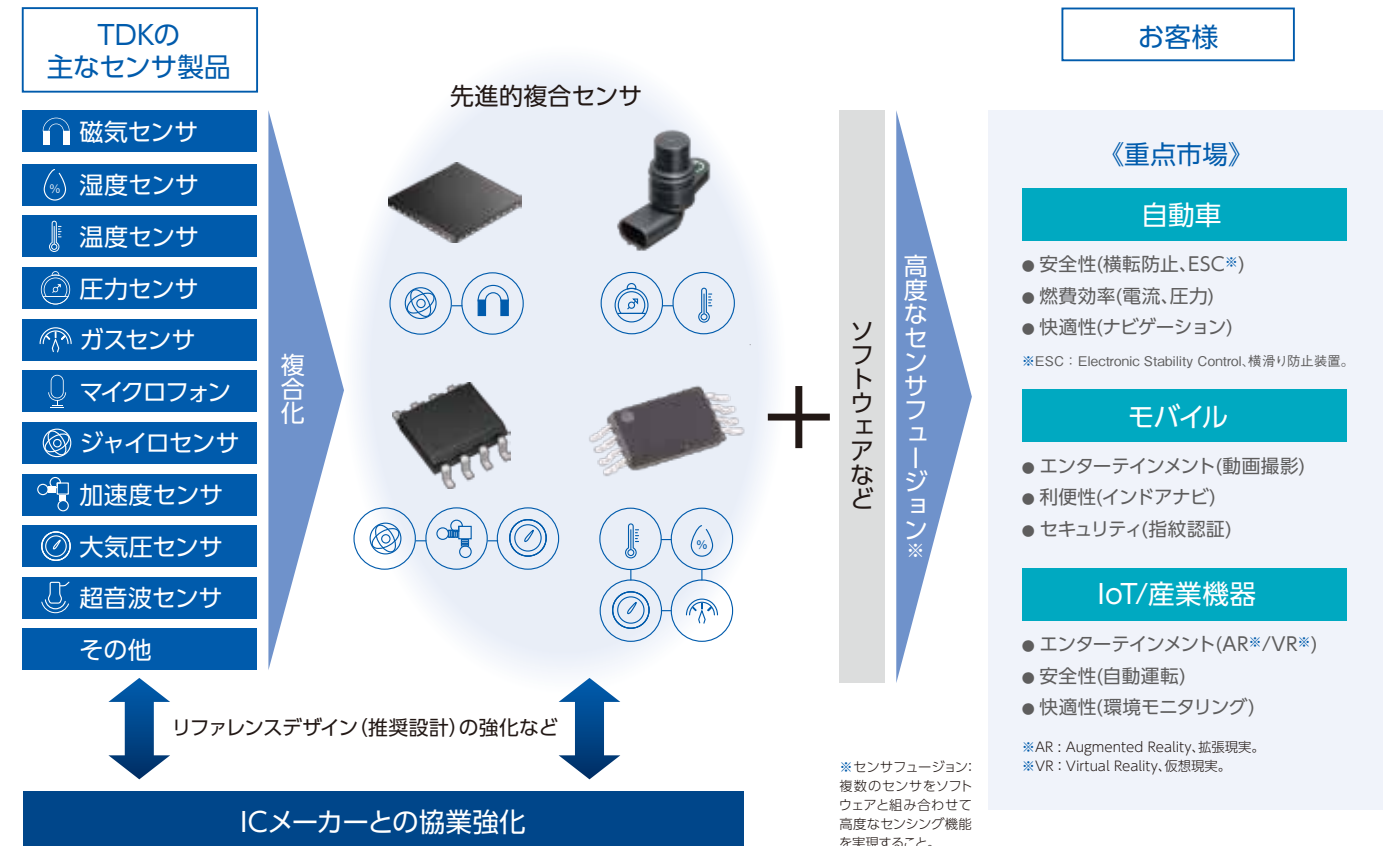
- 磁気センサ
- 超音波センサ
- 赤外線センサ
- 皮膚感覚、体感(運動・平衡・重量 など)に関係したセンサ
  - 温度センサ 湿度センサ
  - 大気圧センサ
- 加速度センサ
- ジャイロセンサ

## 世界No.1の“センサソリューション・プロバイダー”を目指して

TDKは、センサを戦略成長製品の一つとして位置付けています。磁気センサや温度センサなどの従来のTDK製品群に加えて、積極的な企業買収により、**TDKのセンサ製品(非光学式)のラインナップは拡充され、主要な市場ニーズの全てに対応することが可能**となりました。今後は、ICメーカーとの協業を推進しつつ、複数のセンサやICを一体化させた先進的複合センサの開発体制を強化していきます。

また、フェライトに代表される素材技術に加えて、モジュール技術やパッケージ技術、ICチップを基板内に埋め込むSESUB(セサブ:IC内蔵基板)技術など、有効活用できるさまざまな周辺技術を有するのもTDKの強みです。**多様なニーズにフレキシブル&トータルに 대응する世界No.1の“センサソリューション・プロバイダー”**を目指し、事業拡大に努めていきます。

## TDKがめざすセンサソリューション



※センサフュージョン: 複数のセンサをソフトウェアと組み合わせて高度なセンシング機能を実現すること。

- お客様**

**《重点市場》**

自動車

  - 安全性(横転防止、ESC※)
  - 燃費効率(電流、圧力)
  - 快適性(ナビゲーション)

※ESC: Electronic Stability Control, 横滑り防止装置。

モバイル

  - エンターテインメント(動画撮影)
  - 利便性(インドアナビ)
  - セキュリティ(指紋認証)

IoT/産業機器

  - エンターテインメント(AR\*/VR※)
  - 安全性(自動運転)
  - 快適性(環境モニタリング)

※AR: Augmented Reality, 拡張現実。  
※VR: Virtual Reality, 仮想現実。



フェライトを原点とする素材技術、素材の持ち味を引き出すプロセス技術など、長年にわたって培われた総合技術力がTDKの強みです。絶えず時代の変化や最先端のニーズに対応することで、世界有数の電子部品メーカーへと発展を遂げてきたTDKの歴史をシリーズでご紹介します。

## 第1回 「出会いと縁、TDKの誕生」

### 第1回 1930年代



加藤与五郎博士(左)と武井武博士(右)

### 画期的なセラミックスの磁性材料

フェライトは1930年、東京工業大学の加藤与五郎博士と武井武博士によって発明されました。フェライトは酸化鉄を主成分とする非金属(セラミックス)の磁性材料で、磁性材料といえば金属しか考えられなかった当時には画期的なものでした。発明から90年近く経った現在でも、エレクトロニクス分野に不可欠な磁性材料として多用されています。



TDKの創業者・齋藤憲三

### 創業者・齋藤憲三とフェライトの運命的な出会い

TDKは、このフェライトの工業化を目的として、秋田県出身の齋藤憲三によって創立されました。故郷の産業振興のために、さまざまな事業に着手、模索していた齋藤は、1935年、知人の紹介により東京工業大学の加藤与五郎博士を訪問した際、フェライトと運命的な出会いを果たしました。当時、フェライトは用途も工業化の可能性も全く未知数の磁性材料でしたが、齋藤は「独創性のある工業こそ真の工業だ」という加藤博士の言葉に強く感銘を受け、フェライトの工業化を決意しました。



創業初期のフェライトコア製品

### 「オキサイドコア」と命名して製品化

齋藤の並々ならぬ熱意に応え、加藤博士はフェライトの特許使用権の無償提供を約束。1935年12月7日、TDKの前身である東京電気化学工業株式会社が、東京市芝区田村町に設立されました。1937年には、鐘淵紡績株式会社の津田信吾社長から資金援助を得て、東京市蒲田区にフェライトの生産拠点となる蒲田工場を建設し、フェライトコアを「オキサイドコア」と名付け、製品化を果たしました。最初は無線通信機の同調コイルの磁心として、そのすぐれた特性が認められ、次第に需要を拡大していったのです。

〈TDK History 第2回〉は、「無線機とラジオの発達とともに躍進」をご紹介します。

第2回 1930～1950年代

第3回 1950～1970年代

第4回 1970～1980年代

第5回 1980～1990年代

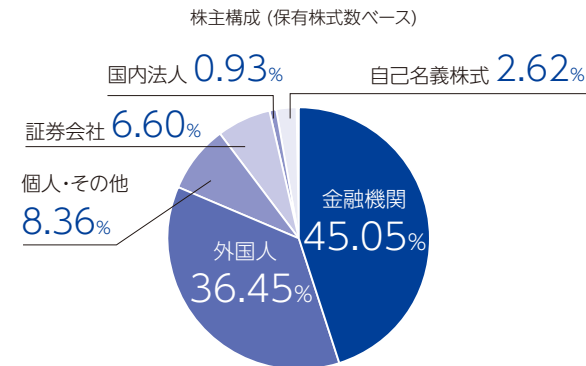
第6回 1990～2010年代

## 会社概要・株主の状況

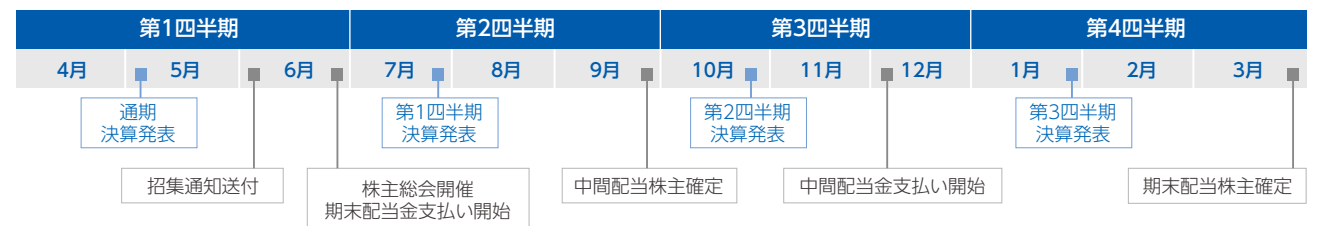
### 会社概要 (2017年3月31日現在)

商号	TDK 株式会社 (TDK Corporation)
本社所在地	東京都港区芝浦三丁目9番1号 芝浦ルネサイトタワー
設立年月日	1935年12月7日
資本金	32,641,976,312円
従業員数	99,693名
HPアドレス	http://www.tdk.co.jp/

### 株主の状況 (2017年3月31日現在) 株主数 25,987名



### IR年間スケジュール



### 役員状況 (2017年6月29日現在)

取締役 (*印は社外取締役)	執行役員
代表取締役 上釜 健宏	社長 石黒 成直
代表取締役 石黒 成直	副社長 植村 博之
取締役 山西 哲司	専務執行役員 小林 敦夫
取締役 逢坂 清治 (新任)	専務執行役員 逢坂 清治
取締役 澄田 誠*	専務執行役員 Joachim Zichlarz (ヨアヒム・ツィヒラルツ)
取締役 吉田 和正*	常務執行役員 齋藤 昇
取締役 石村 和彦*	常務執行役員 山西 哲司
	執行役員 桃塚 高和
	執行役員 永田 充
	執行役員 Joachim Thiele (ヨアヒム・ティエ)
	執行役員 今本 敬一
	執行役員 末木 悟
	執行役員 Norbert Hess (ノルベルト・ヘス)
	執行役員 Michael Pocsatko (マイケル・ポチャッコ)
	執行役員 Hong Tian (ホン・ティエン)
	執行役員 Albert Ong (アルバート・オン)
	執行役員 松岡 大 (新任)
	執行役員 疋田 理 (新任)

### 監査役 (\*\*印は社外監査役)

常勤監査役 米山 淳二
常勤監査役 四居 治
監査役 八木 和則**
監査役 石黒 徹**
監査役 藤村 潔**